

# ガスもれ受信機AAPJ006型シリーズ 遮断スイッチ設定表／接点、ジャンパーピン構成図

件名： \_\_\_\_\_

型式： \_\_\_\_\_

(例：AAPJ006-B34-30L)

新規 年 月 日  
更新 年 月 日  
発行会社名：  
部所：  
管理番号：

承認	検証	担当

## 【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。(TM10866(特盤の場合TM10891)「ガスもれ受信機AAPJ006機能設定表」を参照)

【ジャンパー設定の記載方法】  
(例) JPI- の設定：設定の場合

【移報接点の構成】

- 受信機
  - ・移報接点の標準装備はF1～F25 (PSU基板)です。
  - ・ROU基板(オプション、20点/枚、最大5枚まで)により、F26～F125(最大)まで追加できます。
  - ・F4、5はトランスファ接点、F1～F3は独立したコモンメーク接点、F6～は5接点で1コモンメーク接点です。
  - ・ステータス運動で「異常代表」または「主電源断」にした場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間が導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F4、F5(C接点)のC-B端子間を使用してください。
- P型インターフェイス盤
  - ・SOU基板(20点/枚、最大5枚まで)により、S1～S100(最大)まで追加できます。
  - ・S1～S100まで全て5接点で1コモンメーク接点です。
  - 注) SOU基板は盤のキャピサイズにより枚数が異なります。

【諸表示(LX)の電源について】

- ・諸表示(LX)を受信機電源(I±)から供給する場合、ジャンパーピンJPI-を設定することで、I-とLXCの渡り配線は不要になります。

## 1. 遮断スイッチ設定表 (機能設定表TM10866(特盤の場合TM10891)の2項 オプションスイッチの設定と6項、7項 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです)

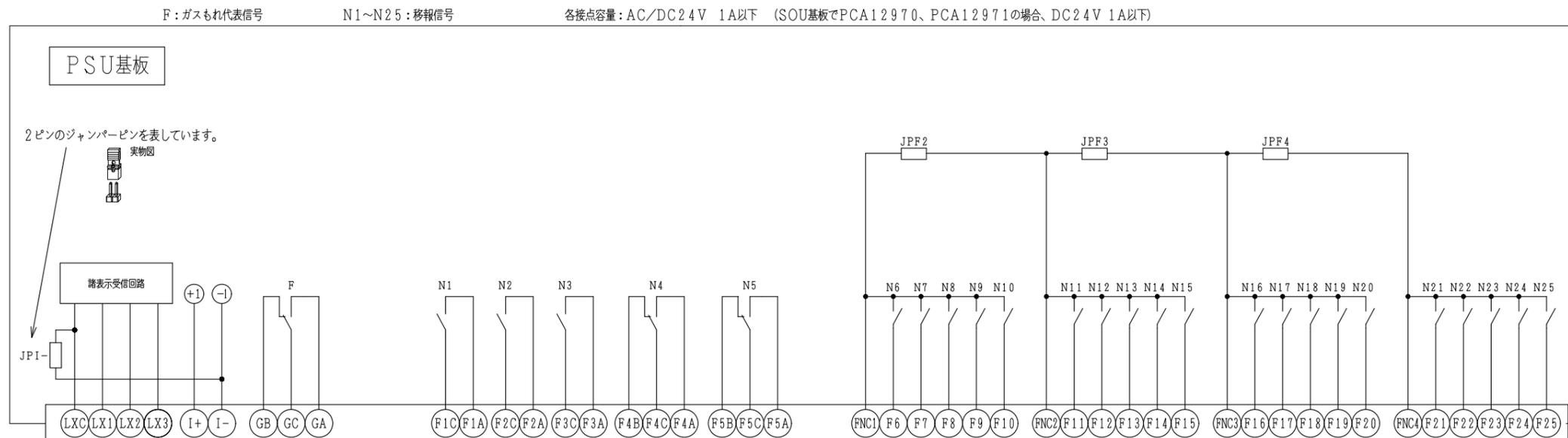
スイッチ名称(標準)	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
ガスもれ代表遮断		F接点(GA1-GC1)※固定

スイッチ名称(標準)	用途	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		
OP5	遮断 / ノンロック / ロック		

## 2. 接点、ジャンパーピン構成図

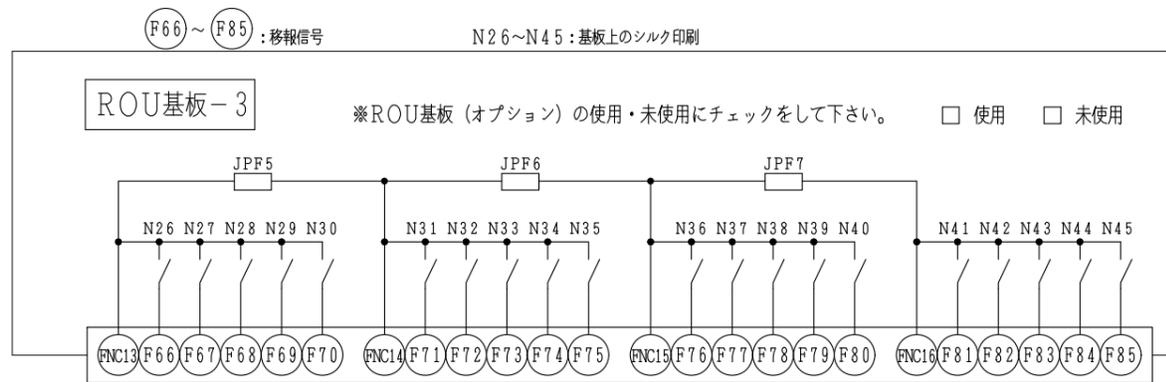
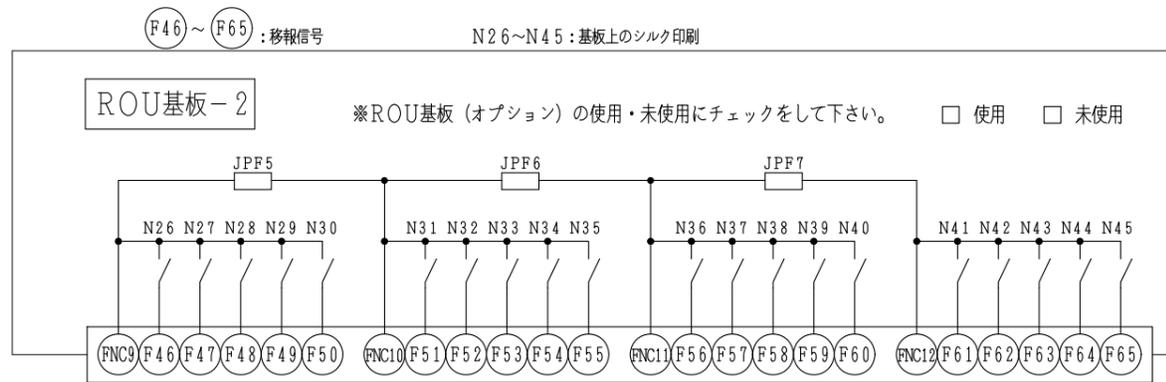
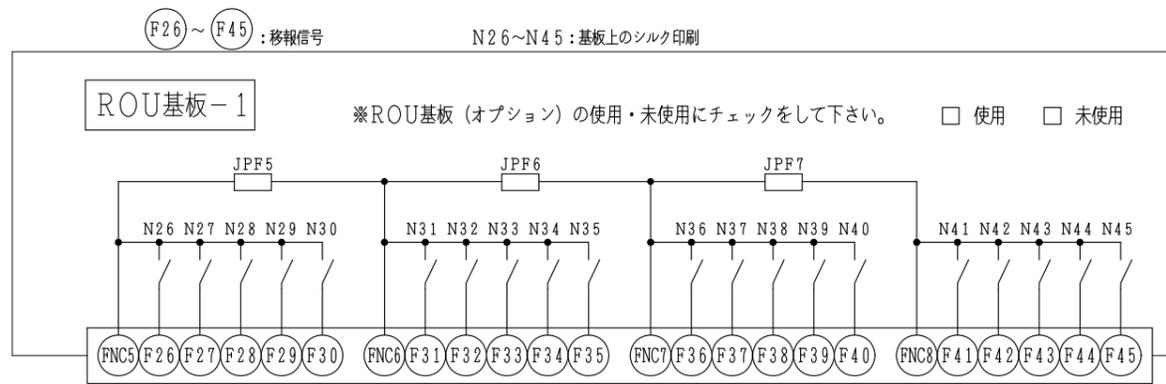
### (2-1) PSU基板

■ 諸表示(LX)電源用 : JPI-短絡(受信機電源を使用する場合) ■ 基板内コモン共通化(無電圧) : JPF2~4(F6~F25を使用する場合)



(2-2) ROU基板 (オプション)

- ・ JPF5~7を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) ROU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。



(2-3) SOU基板 (P型インターフェイス盤の手配時)

- ・ JPS1~3を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) SOU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。

【終端設定方法】

- ・ 基板番号がPCA12972以降の場合、末端の基板には終端抵抗用のジャンパープラグJP1、JP2を取り付けてください。

